

住民が反対デモ 19日に再度話し合い

宗教法人
集会所建設



施工業者の車両に反対を訴える住民＝16日
午前、宮崎市新名爪

と、「反対」「帰れ」と声を
張り上げ、工事をしないよう
訴えた。

事態沈静化のため訪れた宮崎北警員も交え、両者の話し合いは午前11時ごろまで続いた。反対住民の代表は「抵抗手段がなく、精いっぱい表現した。話し合いでは不安解消に向けた意見を出したい」と話した。同会関係者は「今後も住民の方々の不安を解消し、理解を求める努力を続けたい」と話している。

また、市は同日、同会に対し、住民の不安解消に配慮し、住民の不安解消を手渡した。同市の市議会一般質問で、日野輝生議員（市政同志会）の質問で明らかにした。

宗教法人神慈秀明会（本部・滋賀県甲賀市）が宮崎市新名爪に集会所着工を予定していた16日、地元住民約200人が工事に取り掛かろうとした施工業者に反対を訴えて詰め寄り、一時騒然となった。住民と同会側は19日に再度話し合いの場を設け、それまでは工事を控えることで合意した。

鉢巻きを巻き、「反対」と書かれたプラカードを手にした住民が、午前7時ごろから建設予定地に集合。午前8時すぎに施工業者が到着する

▼恐喝未遂の疑い政治結社代表を逮捕 宮崎北署は16日、恐喝未遂の疑いで宮崎市吾妻町、政治結社代表兒玉昭文容疑者（56）を逮捕した。逮捕容疑は、5月中旬ごろから、所有する街頭宣伝車で特定の会社を誹謗（ひぼう）中傷する内容の街宣活動を宮崎市周辺で行った上で、6月上旬、同社に「金を準備しなければ、街宣を続ける」と因縁をつけ、現金を脅し取ろうとした疑い。兒玉容疑者は容疑を否認している。